



42 . 10 . 17

発行所 釧路アスナロクラブ編集部

目次	事務局メモ	1
	慢心がブレーキに	2
	沈滞ムードを消せ	2
	市の発展のために	3
	この人と(1)プロフィール	3
	ブカブカドンドン	3
	事業内職業訓練と	
	集団求人について	4
	秋の味	4

# 事務局メモ

一 四月四日四十二年度第一回役員会

イ 総務、企画、厚生各部会の活動範囲につき討議

ロ 事務局二人制による職掌の拡張

ハ 予算案の審議

ニ 四十二年度行事計画の審議

三 四月八日会長、儀俄理事出席の許に事務局、事務分担の折合せ

四 四月一日、第一回企画委員会の会合

企画委員持寄りの案について討議

四、四月二〇日第一回例会

浪 出席二六名、欠席一〇名

イ 新入会員藤野昭雄君紹介

ロ 企画委員会提案事項の討議

ハ 予算案の討議

ニ 五月例会あすなるビール会と

合同による北斗農場視察について打合せ

ホ 会長より中央卸市場の性格及び

び今日までの推移について説明

明

へ 例会後三部会臨時集會

五、五月七日第二回例会はビール会

と合同による北斗農場視察

本会出席三一名欠席五名

盛會裡の中に無事終了

六、五月十七日第二回企画委員

第一回例会によって決案をみた事項につき具体的に企画し尚補

足事項提案審議

(尚五月例会の実行に当り五月

二日企画委員並びにビール会役

員による合同協議会をもった事

を附加します)

七、六月十三日第二回役員会

イ 六、七、八、九月の行事計画

ロ 例会場の変更

ハ 其他

八、六月二十日第三回例会

出席十八名欠席十六名

(今月より浅野本問両会員休会

のため一応会員数三十四名とな

ります)

イ 今田会員より持家制度につい

ての研究発表

ロ 七月例会の計画案自衛隊一日

入隊について討議

ハ 八月例会家族同伴野遊会につ

いて厚生委員会へ委託の件

ニ 賞金問題について総合研究並

に発表の件は九月例会に行う

事

ホ テーブルスピーチの件及び機

関紙発表表について審議

へ 会場は支障のない限り今後は

公民館に決定

(附記)

一、八月の家族同伴の野遊について

厚生委員会では第一回部会を七月二十日小沢委員長の仕事所において行われました。尚より有意義且快的にするために八月二十日の月日まで数度会合を持つ事を打合せました。

三、総合討論会の一環として

業種別ブロックに分類して討議

することに決定

製造、卸、小売の三分類として

各ブロック中より二及至三の委

員を選出し委員を中心としたデ

スカション並に資料収集に重点

をおいて進めて行く事。

以上企画委員会の案を追記しま

す。

九、七月例会

此の月のはかねて立案中の自衛隊

一日入隊を予定、具体化するた

めアンケートをとったが、会員

各位の希望がまち／＼であり且

アンケートに対する応答も少な

かったので次回にゆずる事に決

定、場所を米町定光寺において

座禅会を実施する事とした。

大道晃仏師の教導により「禅と

社員教育について」のテーマ

によりゼミナールと座禅に一夜

を有意義に過した。

但し出席数十八名些か数におい

て足りなかった事が寂しかった

二、厚生委員会

八月二十日行なう家族同伴野遊

会も種々場所を検討の結果達古

武湖と決定、しかも細岡駅長並に同駅助役氏の積極な協力を得晴雨に拘らず実行する事に決定二、八月例会

家族同伴野外リクレーション。

場所 細岡駅下車 達古武湖畔

会員出席 二二名

家族出席 四五名

先発 小沢厚生委員長以下三名

天候 快晴

催し物 あすなる鍋を囲み。

西瓜捜し、西瓜割りそして又地

引網等に興じ一日楽しく過した

(追記)

以上をもちまして八月例会まで

の四十二年度の事務局だよりを

欄筆しますが、悪文のためご理

解願えない点又多少私見を交え

ました事についてお詫び致しま

す。

尚其の後気がきました点などに

つき加筆いたします。

先づ会員各位の動向について

浅野本問両会員は療養のため今

暫くの間休会したい旨申入れあ

りました。

岩田会員には一時病氣加療のため入院中でありましたが、無事

快愈、其後お元気で内外共に活躍されておられる事よろこび

申し上げます。

又室本会員の母堂様が先般逝去

されました心よりご冥福をお祈り致します。事務局 T I 生

# 慢心がブレーキに

## 反省せよ！インスタント部長

横地重幸

会社に部長や課長をおくのは、的、形成的な部長や課長なのだと言わなければならない。当然のことである。ちょうど太平洋戦争末期に陸海軍で大量生産された二十四、五で部長になったり、三、四十で部長になったりする。若し人たちはいつまでも下っ端でいるより、課長や部長に昇進することは大いに好ましい。

だが、ここで忘れてならないことは、この生えた大会社と違って速成栽培の新興成長会社の部長や課長は、本人に実力があつてのことではなく、「ないと不便だから」と言う意味で多分に便宜

的、形成的な部長や課長なのだと言わなければならない。当然のことである。ちょうど太平洋戦争末期に陸海軍で大量生産された二十四、五で部長になったり、三、四十で部長になったりする。若し人たちはいつまでも下っ端でいるより、課長や部長に昇進することは大いに好ましい。

### 沈滞ムードを消せ M K 生

あすなろは輝かしい足跡を踏みしめて五年……然るに最近のその沈滞ムードはどうした事なのだろうか、理事者の一人として洵に漸愧にたえない。

「自然発生の任意団体が突き当る必然性」として傍観するには余りにも不甲斐ない思いなのだ。私にはどうする術も知らない。然し、強いてその症状診断をすれば、機能麻痺と診断出来るのではなからうか。

或はそれ以前の所謂、吾々が、位にいる社会の中小企業という

俺は十年で部長になったから、俺のほうが偉いのだと本気で思っている者もいる。とくにいけないことは、そういう成長会社の特長として、会社の発展が社員個々の努力に依存するよりも、商品の力や時代の力に依存している場合が多いことである。勝手に帆をあげた形で、会社はあつていどまでは放っておいても発展する。ところが、若い人たちはそうは考えないで、会社の発展が自分たちの実力によるものだと錯覚してしまう。こうしてフロックを自分の手柄と思ひ、部長、課長という名前に酔っぱらって自分はいかに思ってしまう。

※生意気が会社をつぶす  
このような成長会社へ移ってまず感ずることは、社員も幹部も若くて活気のあることである。これは旧式な会社で見られない光景である。意気がいいのは結構であるが、若さと意気のよさが行き過ぎて、生意気になっていくのが多い。こういう生意気な幹部や社員の多い会社は必ず「危い会社」である。この生意気さを指数でチェックしておくこと、その会社の殆んどが危なく、ついでに、いま危なくなっても近い将来必ず危なくなる。なぜかという、生意気ということ、慢心ということであり、頭の成長の芯が止まっているということ

※力モにされる青二才  
生意気な部長意識、頭の成長の芯が止まっている奴が部長でございと、遊び回るのが危険である。三十代ぐらいの若者が一流気取りでゴルフ場やバーへよく出かけるのを見る。バーなどはお客にタラ腹のませ、しこたま金をとりあげて再々足をこぼせるには、どんなオベッカも愛想もふりまくものだ。まして、相手が社用族の青二才の部長とあつては、それこそいいカモである。そういう場に足をこぼすのを「商取引の社交場」と心得ているのであるからナンセンスにもほどがある。バーだけではない。広告業者でも、出入商人でも海千山千の商人にかかつては速成栽培のインチキ部長など格好のカモである。

※慢心、慢然と絶縁せよ  
いま、自分たちの会社がいづまでも、昨日までのように、安泰で思つたら大まちがひである。場合によってはゴルフやバー遊びをやめるどころか、自動車も家も売りはらつて、もう一度長屋住まいから出なかなければならないこともあるのである。その日のためにも、このへんで慢心と慢然の二文字をキッパリ絶縁することが必要である。

このように、若さ、部長、坊ちゃん課長は家庭にも影響する。何も知らない妻君がこの部長課長を本モノの部長、課長と信じて（うちの亭主は偉いんだ）と錯覚したり、近所となりに吹聴して物議をおこしたりする。とくに頭の弱い最近の若い妻君連中の、さなぎだに強い虚栄心とせいたく心を煽つてしまう。会社でも家庭でも若さ

# 市の発展のために

T M 生

日本の人口がまた、一億を越えたそうだ。  
昭和十七、八年頃よく「出せ一億の底力」と言う用語があり戦争の為に総力を上げた時代もあった。その頃の日本は南は遠く南洋委任統治領から、台湾、朝鮮、北は千島、樺太と本土の外に人口も散住して居た。

昭和二十年敗戦と言う裏目の賽が出て、満州、支那、朝鮮、台湾はおろか樺太、千島からもたたき出されてしまった。  
結局、せいまい本土だけに成ってしまったのである。  
戦後二十数年の日本の発展はずざましいものである。衣食「住はまだ」であるが、どうやら国際水準に近いそうである。  
交通の方も「空陸海」と発展して諸外国とも交就して居る様である。

だが陸の方は、道路は自動車があふれ出、一步横路へ入ると「ガタガタ」の道路である。  
自動車の伸長率は諸外国に比べ見ても決して劣らない様である（先進国一二を除いて）  
民間で作る自動車、船、航空機が次から次と増産されて居るのに

それを収容する国、その他行政上の道路、港、空港はさっぱり整備拡張されて居ない様である。  
国の発展よりなにか先に民間の方の経済の方が先で、国が民間に引きずられて居るのではないかと  
言う感じもしないではない。  
子が先に伸びて親が後より追いかけて居る様な感じである。  
手近な釧路にしても毎月の様に交通事故である。二十万市民が安心して通れる道路は一つもなくなくなってしまった様である。舗装された道路は車、また車の列で歩行者は道路の横断も出来ない。一步横路は車が通る度に天気の良い日は「ほこり」で目も開いて居られず雨になると泥で通るのも前後横と気をくばらなければ安心出来ない  
最近釧路市では道路公債を発行すると聞いて居る。総額三億円と聞いて居る。初年度は一億円だそうである。  
市長、助役が市内大手会社、商社に直接頼みに歩いて居ると言う話も聞いて居るが。先日新聞を見るとほゞ見通しが着いた様ではあるが、裏話を聞いて見るとなにかすつきりとして居ない様である。

工場誘致の問題である市は大手会社の発表、進出にストップをかけて置きながら（市の経済発展）経済の発展の為住み良い釧路などと言うキャッチフレーズを出して進めようかと思われる。

## この人と(1) (プロフィール)

### 事務次長

五周年記念特集号に「人物評論」と題し幾人かの人の「私から見た人となり」を掲げて頂きましたがあとから活字になった自分の文を見てまことに冷汗三斗の思いがすると同時に組上にあげられた方々に申訳なく存じておりました。  
併しその悪癖又首をもたげ又々筆をとってしまいました。  
何卒これから私の毒舌に供せられ皆様一笑に附す度量をもって寛恕の程。  
一、監事G氏 常にスマイルショッ  
プの看板をもって世に風びするYタイヤ社の社長  
仕事は自らその風格を表わすものですがこの人からはそのような仕事は相像出来ない。  
どちらかという瘦身むしろクブを握ってグリーンに立っているスタイルが似つかわしい程但しそれは表面だけで数字に強く、時々肺腑を抉るような正論を吐く 会創始以来の功労者  
二、厚生委員長 O氏  
扱っておられる品が固い物ばかりのせいでもあるまいがクラブ随一のまじめ人間、O氏の厚生委員長は最適とみます。それと同時に酒を呑む人間は不まじめな人間であるとの一般論を見事この人はくつがえしました。  
仕事に徹し酒を愛す人間味のあるO氏です。  
三、総務委員のW氏、まるい顔で笑を常にたゞえ商売柄インスタントトイレを作らせたらこの人の右に出る者なし、家具センターを建てたと思ったら今年は一転して会館の建設に今や大童わ、誠に事業家です。  
好漢愈々ご健斗され度し  
四、企画委員のS氏  
此の度は思いがけなくも賢弟を失いそのご心中誠に察するにあまりあります。  
ご令弟を失った事はあなたばかりでなくご令弟と日頃関係あった釧路市民の皆様が悲嘆にくれ

ているところです。  
どうぞ静かにご冥福を祈ってあげて下さい。  
しがし何時までも失意に低迷することなく奮起一番ご令弟の分まで今後活躍されることを期待しております。  
（S氏のプロフィールはこの様な事情により次回にゆずります）  
五、厚生委員S氏  
南大通三丁目のほめられ者。親考行。女房考行。子ども考行。それに加えてお酒考行。この人の酔いつぶりに絶妙、お酒を楽しく呑む事では北のムーさんと好一对。この人達に呑まれた酒こそまことに冥加というものの福司のセーさんお二人にこそ樽進呈してあげてはどうですか、紙数もつきたようですので次の会報までゆづります。

ブカブカドンドン  
あれも上る…これも上る…  
物価上昇は急テンポ、比例してフトコロはヤセル一方、官業や公社等がトンク物価高をアオッテいるようで、どうにもやり切れない思いで一杯だ。  
人事院の報告で給与ベースが直ちに改められる政府屋さんが羨ましい。吾々の企業にも、そんな妙手はないだろうかね……

# 事業内職業訓練と 集団求人について

ご承知の事と存じますが、事業内職業訓練とは、北海道知事の認定を受け職種毎に若年労働者の技能訓練と地位の向上を計るのを目的としております。道内に約一三ヶ所あり、大体三年制で三年間に学科と実技合わせて五、四〇〇時間の訓練を行ないます。釧路では八業種で運営委員会を構成し、支庁の商工労働課訓練係の指導の下に、学科は川北町の訓練センターで実技は各職場で職業訓練指導員の免許を持っている指導員が教えております。この認定職業訓練所は毎年訓練生を募集しておりますが、近年経済の高度生長に伴い、求人が著しく増大し、このため労働力の不足が深刻化しておりますが、今後には益々新現労働力が減少しとくに昭和四〇年後半においては、需給のひっ迫が一層強まるものと予想されます。また技能労働者の不足数は、昭和三六年以降一〇〇万人をこえ、その不足数は、慢性化しているといわれます。

そこで、釧路職安と釧路支庁と事業内職業訓練運営委員会がタイアップして昭和四十一年三月新規中学校卒業者就職希望者を対象にして始められたのが集団求人方式です。別表の通りその年度は六団体

で、求人総数三二一名就職数二〇二名、充足率六四、九%の成果を見ました。四十二年三月新卒者対象求人は、九団体になり求人総数は四八五名、就職数二四九名、充足率五一、三%で四〇年にくらべ、充足数は減少しているが、就職数は四七名の増加になっております

(別表)

集団求人	42	3	41	3	40	3	四〇年は 実施前です
大工組合	68	76	27	12			
板金	17	27		8			
左官	33	20		6			
塗装	14	23					
時計	6	12					
電気	26	44					
建具家具	22	/					
機械工業	35	/					
厚岸共訓	28	7					

## やって見せるという 意欲をもとう

今田 英二

左官 〇五、〇〇〇 二六、〇〇〇  
塗装 〇二、五〇〇 一五、〇〇〇  
時計 〇二、〇〇〇 一三、二〇〇  
電気 〇二、〇〇〇 一四、〇〇〇  
建具家具 〇二、五〇〇 一五、〇〇〇  
機械工業 〇一、〇〇〇 一四、〇〇〇

労働条件の細部について必要があれば後日報告します。

銀行主催の経営者講習会が先頃あつて私も出席し、半日講師のお話を拝聴しました。その内容店数も改良しようと思いつながら今日迄の仕事を追われ、聞いて来た一日も実行されていないのは、自身自身全く困った人間だと自己批判している。でもまだ感銘のうしなっていない内に、何かしら自分の経営の内に入られて見ようと言う

気持は変りがない。三日程前に総務委員長の松田さんより原稿の督促をされて一つ返事でOKしたのだが、本日その原稿を三〇分後に取りにお向いするからと言われるまで書いてない。早速原稿用紙に向つていたが、する／＼と書けるものではない。それから考え合せると三日間の内に七・八枚の原稿を書く暇がなかったかというところ。そのやる気を起さなければどんな事も出来ない社員によくお小言を言う側でありながら、自分の事になるとこの様な有様であるから考えさせられる。

結局やる気があるかないかである。今月はこれだけやってみせるというように自分からやる気を出した月は必ずある程度の成績を出している。

先月はよかつたから今月は少しくをさせてもらおう」というときは駄目だ。私は今月はこれだけやってみようというときは、月間計画を立てて、必ずやってみせる」と自分自身の心に誓って取りか、自分でその気になるとなるとか目標に達するものである。

その次に週間計画を立てる。さらなる気が出てくるときは翌日の目標を立てる。私は夜寝床に入ってから想い出せばメモの計画を立てる。

その様にしてよし今月こそは今週

## 秋の味

秋の味覚、花咲蟹が今が盛り、今日の朝新に中村忠行氏はサクラが秋の味覚で一番と推す。

天高く肥えるサクラ肉は確かにウマイだろう。

然し先日根室ビール会に招かれてその席上に続々と運ばれた蟹の味は、郷愁の似た、晩秋の味だった。

やがてシシャモが蟹にとって代る淡白の味、秋の晩酌にシミジミと秋を味あうのも乙なものである